

フォーラム21少年少女合唱団 第25回定期演奏会

Omnia Mutantur

サラマンカホール

岐阜市藪田南5丁目14番53号 TEL: 058-277-1111

2018 4.30 (月・祝) 15:00 開演

《プログラム》

- ・日本の童謡名曲集『日本の四季めぐりVer.2』(室内楽伴奏版) 名田綾子編曲
- ・『白いうた 青いうた』(室内楽伴奏版) 谷川雁作詞, 新実徳英作曲
- ・W.A.モーツァルト『小ミサ曲ニ長調』 KV194
- ・オルガンと合唱のための『Omnia Mutantur ~万物は流転する~』新実徳英作曲

《共演》 新実徳英 (指揮), 大平健介 (指揮・オルガン), 名田綾子 (ピアノ), 瀬木理央 (ヴァイオリン), 田宮亮 (オルガン), 今木智彦 (ファゴット)

東京藝術大学在学学生 (室内楽): 高松亜衣 (ヴァイオリン), 松岡優 (フルート), 瀬千恵美 (クラリネット), 原宗史 (チェロ), 福岡拓歩 (ピアノ)

フォーラム21委嘱作品
Omnia Mutantur 世界初演

入場料 **2,000円** 全席自由 主催: フォーラム21少年少女合唱団

ウェブサイト: <https://forum-21.net/> お問い合わせ: info@forum-21.net

チケット取り扱い: 坂野楽器 TEL 0586-76-1161 / 大森楽器ショールーム TEL 0586-24-0027

画 伊藤真理衣

フォーラム 21 少年少女合唱団

1991年10月、愛知県一宮市で結成される。合唱音楽により子供たちの自由で豊かな感性を養い、国際交流などを通じて個性ある人間性を育むことを目的としている。これまでに、作曲家の池辺晋一郎、新実徳英、鈴木輝昭、中川いづみ各氏に自作作曲を指導・指揮していただき、2007年にはソプラノ歌手藍川由美氏、2014年にはテノール歌手佐野成宏氏と共演する機会にも恵まれ。異色の共演としては2008年、落語と合唱のための『叩き蟹』を三遊亭圓窓師匠と名古屋・東京・一宮で公演し好評を博した。また、2006年、2008年にNHK東京児童合唱団と共演、2015年にはクロネコヤマトファミリーコンサートに出演し名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。海外では、1995年ウィーン、1999年イギリス、2006年オーストラリア、2013年ドイツにて演奏会を開催。

2017年10月にはドイツよりハノーファー少女合唱団を一宮市に迎えジョイントコンサートを行った。

代表：宇野桂司、指導：藤原順子（声楽）、金森眞由美（ピアノ）、佐藤由美（ピアノ）、宮木令子（声楽）、今木智彦（指揮）

ウェブサイト：<https://forum-21.net>



2017年第24回定期演奏会（サラマンカホール）
大平健介指揮、名古屋フィルハーモニー弦楽奏者と共演

《特別ゲスト》



新実徳英（にいみ とくひで） 作曲家・指揮

1947年名古屋生まれ。東京大学工学部卒業、東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。

77年ジュネーヴ国際バレエ音楽作曲コンクールにて史上二人目のグランプリ並びにジュネーヴ市賞受賞。84年文化庁芸術祭優秀賞。94年レコードアカデミー賞。2000年第18回中島健蔵音楽賞受賞。03年別宮賞受賞。04年CD「風神・雷神」が文化庁芸術祭大賞を受賞。05年万博記念オペラ「白鳥（しろとり）」が名古屋において世界初演され、この公演に佐川吉男音楽賞が授与される。06年オーケストラ・アンサンブル金沢のコンポーザー・イン・レジデンスに就任し、「協奏的交響曲～エランヴィタール～」を世界初演され第55回尾高賞を受賞。管弦楽作品の多くは、国内ではNHK交響楽団を初め主要なオーケストラで、海外でもスイス・ロマン、オランダ放送、BBCスコティッシュ、フランス国立放送、ベルリン、ニュルンベルグ等のオーケストラにより演奏され、それぞれ高い評価を得ている。



大平健介（おおひら けんすけ） オルガニスト・指揮

1986年、神奈川県横浜市生まれ。私立青山学院中等部、高等部卒業。同校オルガン同好会、オルガン部を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻、および同大学院音楽研究科修士課程卒業。DAAD（ドイツ学術交流会）給費留学生として2010年秋より渡独。2013年、ヴェルツブルク音楽大学オルガン科マイスター課程、および2015年、同大学教会音楽科を卒業。平成25年度、文化庁新進芸術家海外研修員。2010-15年、ヴェルツブルクバツハカンタータクラブ音楽監督。2015-17年、シュトゥットガルト・シュティフツ教会音楽アシスタント。2016年、ION ニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。同年夏よりドイツを拠点にヨーロッパを巡るコンサートツアーを開始。ソリストとしてはこれまでに聖母教会（ドレスデン）、ミュンスター（フライブルク）、セント・ポール大聖堂（ロンドン）等から招待を受けている。これまでにオルガンを浅井寛子、廣野嗣雄、鈴木雅明、廣江理枝、C. ボッサート、B. ハースの各氏に師事。現在はシュトゥットガルト、ポータナングにてカントールを務めている他、ソリテュード宮殿礼拝堂におけるコンサートシリーズの音楽監督も兼任。今春より、シュティフツ教会正オルガニストに就任。2018年春、自身初のデビューCDをバイエルン放送/スペクトラルレコード（ドイツ）よりリリース予定。ミュンヘン音楽大学修士課程現代音楽科、及び教会音楽科に在籍中。ドイツ・シュトゥットガルト在住。



名田綾子（めいだ あやこ） 作曲家・ピアノ

兵庫県立西宮高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程修了。作曲を長谷川京子、藤原嘉文、澤内崇、林達也、小鍛治邦隆の各氏に、ピアノを菅千種、林敦子、成瀬修、中井正子の各氏に師事。ピアノ・室内楽・合唱など様々なジャンルの作編曲を行う。カワイ出版より「日本の四季めぐり」「イタリア歌めぐり」「フランス歌めぐり」「いのち」「歌は繋いだ手のように」「手から、手へ」等多数の合唱作品を出版、こどものためのピアノ曲集「粉雪のファンタジー」等に自作作曲が掲載される。フォーラム 21 少年少女合唱団とは2011年より毎年作編曲作品を初演する他、2014年のThe Premiere Vol.3、2015年の関西学生混声合唱連盟定期演奏会、2017年の東京六大学混声合唱連盟定期演奏会などで合唱作品が初演されている。作編曲家、ピアニストとして活動する傍ら、ヤマハJOCスタッフ・創作講座講師として全国各地で講座を行う。現在、東京藝術大学非常勤講師。



瀬木理央（せぎ りお） ヴァイオリン

名古屋市出身。3歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。

第59回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第1位。第7回大阪国際音楽コンクール高校の部エスポワール賞受賞。第8回同コンクール大学の部第3位。PMF、小澤征爾音楽塾、アフィニス夏の音楽祭などに参加し研鑽を積む。第150回日演連推薦・新人演奏会において名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。これまでにヴァイオリンを漆原啓子、永峰高志、四方恭子、清水高師、林茂子、大沢美木の各氏に師事。名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴァイオリン奏者。